

甲賀市教育委員会

教育長 山下 由行 様

多羅尾学区保育園・小学校再編検討協議会 報告書
(多羅尾小学校について)

多羅尾学区保育園・小学校再編検討協議会（以下「協議会」という。）では、多羅尾の子どもたちの育ち、また、多羅尾小学校へ通学する子どもたちの育ちを第一義に地域の思いも踏まえ、多羅尾小学校について慎重に協議を重ねてきました。

多羅尾学区は、これまでから児童と保護者、高齢者等の幅広い世代がつながり、地域全体が家族のように子どもたちを見守り、育ててきました。

小規模な学校であるからこそ、また、地域全体で見守り育てるからこそ、一人ひとりに細やかな教育ができ、この学びが礎となり、多羅尾小学校の卒業生は、夢を持ち、たくましく強く成長しています。

また、このような環境を望む学区外の保護者や児童は、特認校制度を活用し通学しており、多羅尾小学校は、当地域のみならず、市内の子どもたちの教育環境の選択肢の一つとして必要な学校であると考えています。

地域にとっては、小学校は先人たちが作り上げてこられた歴史や伝統の源であり、運動会や地域参観日、オペレッタなどの学校行事、日々の通学等を通しての児童とのかかわりは、生活に潤いを与え、活力を与えてくれるかけがえのない存在となっています。

以上のことから、現時点といたしまして、協議会では「多羅尾小学校は存続すべき」との結論となりましたので、ご報告いたします。

令和元年12月3日

多羅尾学区保育園・小学校再編検討協議会
委員長 高 杭 一 弘